



西予市は、平成16年に5つのまちが合併して誕生しました。海拔0mから1,400mまで、地域ごとに多様な気候風土を有し、みかん、魚介類、米、ぶどう、いちご、栗、柚子、トマト、乳製品、牛肉など、四国の台所と呼べるほど、おいしい産物の宝庫でもあります。

海拔0m地点にあり、柑橘の栽培や漁業が盛んな三瓶町と明浜町は、温暖でゆったりとした雰囲気魅力のまちです。重要伝統的建造物群保存地区にも指定された文教のまち宇和町では、歴史的な建物を見ながらの町歩きがたのしめます。昔ながらの里山風景が残る城川町は西

予市で初めてフットパスを取り入れた地区で、龍馬脱藩の道を歩くイベントなどが開催され、フットパス関連の活動が最も盛んなまちです。そして、海拔1,400m地点にある野村町の大野ヶ原には、日本三大カルスト地形のひとつである四国カルストが広がっています。付近は牧草地帯として利用され、牛たちがのんびりと草をはむ光景はまるでアルプスのよう。牧歌的で雄大な景色がたのしめます。

そんな西予市のありのままの自然を、フットパスを通じて地域の方々との交流を楽しみながら、じっくり歩いて味わってみませんか。